

「ゲームと美術 信長の野望／コーエーテクモゲームスの野望 —インタラクティブ・アートの誕生」概要

展覧会の概要

1章 インタラクティブ・アートとしての歴史シミュレーションゲームの誕生

1980年代初頭に登場したシミュレーションゲームは、それまでのアクションゲームやシューティングゲームとは異なり、プレイヤーの操作により入力された数値が世界を動かしていくという新たな楽しみを生み出しました。

本章では、光栄（現・コーエーテクモゲームス）が生み出した初期のコンピュータゲームを紹介することにより、コンピュータゲーム黎明期における同社の挑戦とその意義を検証するとともに、デジタルゲームにおけるインタラクティブ・アートの萌芽を見出します。



初期の開発に使用された「MZ-80C」
©コーエーテクモゲームス All rights reserved

2章 「信長の野望」の進化と深化

「信長の野望」は、コンピュータ性能の向上に呼応して表現やシステムを発展させてきました。

本章では、「信長の野望」においてゲームとプレイヤーの関係性がどのように発展し、プレイヤーの想像力を刺激しながらもいかに体験の深化を実現したのかを、多様な作品とともにたどります。3面スクリーンによる、没入感のあるウォークインシアターも設置します。



「信長の野望・将星録」より
©コーエーテクモゲームス All rights reserved

3章 「信長の野望」をとりまくデザイン

「信長の野望」は、商業製品であるゆえに、ゲーム本体だけでなく、その周辺にもさまざまなデザインが展開されてきました。

本章では、パッケージイラストや関連グッズなど、ゲームを取り巻く多様なデザインに注目し、ゲーム画面の外側にまで広がるインタラクティブな歴史体験のあり方を紹介します。



生頼範義《『信長の野望・戦国群雄伝』パッケージ原画》
©コーエーテクモゲームス All rights reserved



プロモーション用 オリジナル西洋甲冑
©コーエーテクモゲームス All rights reserved

4章 芸術に参加する—インタラクティブ・アートの実践

本展では、芸術鑑賞を「ゲームをプレイすること」と見なし、デジタルゲームがもつゲームとプレイヤーの関係性に着目しています。

本章では、実際に「信長の野望」をプレイすることで、来場者自身がインタラクティブ・アートとしての「歴史シミュレーションゲーム」の参加者となる場を設けます。ゲーム画面の前で思考し、決断し、その結果を受け止める体験を通して、鑑賞者と作品との新たな関係性を体感してください。

関連イベント

トークイベント「ゲームは美術となり得るのか」

- 開催日：令和8(2026)年7月25日(土)
- 時間：14時～15時30分
- 会場：栃木県立美術館 集会室
- 定員：80名(オンラインによる事前申込みが必要)
- 登壇者
 - ・吉田 寛 氏(東京大学大学院人文社会系研究科・文学部教授、美学芸術学研究者)
 - ・小笠原 賢一 氏(コーエーテクモゲームス常務執行役員、「信長の野望」シリーズIPプロデューサー)
 - ・武関 彩瑛(栃木県立美術館主任、本展担当学芸員)

学生発！ゲームラボ

県内のゲーム関連学校の学生作品を体験してみよう！将来のゲームクリエイターの作品をいち早く体験・鑑賞できちゃうかも？

- 開催日：令和8(2026)年8月8日(土)・9日(日)
- 時間：10時～17時
- 会場：栃木県立美術館 集会室
- 協力
 - ・TBC学院国際情報ビジネス専門学校ゲームクリエイター学科
 - ・宇都宮メディア・アーツ専門学校ビジュアルデザイン科
 - ・宇都宮ビジネス電子専門学校ゲームクリエイターコース

※各関連イベントへの参加には、当日の企画展観覧券が必要です。

戦国ウォークゲーム「信長の野望 出陣」コラボレーション

期間中、スマートフォン向け位置情報ゲーム『信長の野望 出陣』とのコラボレーションを実施します。

ご当地スポット(栃木県立美術館)を訪問し、期間限定ミッションを達成すると、栃木県のマスコットキャラクター「とちまるくん」のプレイヤーフレームと無償小判を獲得できます。

また、美術館の受付で期間限定ミッション達成画面をご提示いただいた方に「記念証」を配布いたします(なくなり次第終了)。

- 開催期間：令和8(2026)年7月10日(金)13時～9月7日(月)12時59分



図録・グッズ

展覧会公式図録 2,500円（税込）

各章の解説や展示作品のカラー図版はもちろん、開発者インタビューや研究者・学芸員によるエッセイなど、内容盛りだくさんの94頁。



オリジナルグッズ

ミュージアムショップでは、ここでしか買えないオリジナルのグッズも販売します。

- クリアファイル（全1種） 300円（税込）
- 歴代信長顔グラフィック めじるしチャーム（全15種・ランダム） 300円（税込）
など



※画像はいずれも制作中のサンプルです。

開催概要

- 開催期間：令和8(2026)年7月11日(土)～9月6日(日)
- 開館時間：9時30分～17時（最終入館：16時30分）
- 休館日：月曜日（7月20日(月)は開館）、7月21日(火)
- 観覧料：一般1,500(1,300)円、大学生・高校生800(700)円
※()内は20名以上の団体料金
※7月10日(土)まで、団体料金で購入できるお得なオンライン前売り券を販売
- 主催：ゲームと美術展実行委員会（栃木県立美術館、下野新聞社）
- 特別協力：株式会社コーエーテクモゲームス
- 助成：公益財団法人乃村文化財団
- 後援：朝日新聞宇都宮総局、宇都宮コミュニティFM「ミヤラジ」、株式会社エフエム栃木、東京新聞宇都宮支局、株式会社とちぎテレビ、株式会社栃木放送、毎日新聞宇都宮支局、読売新聞宇都宮支局

その他

- 報道機関・関係者向け内覧会の実施を予定しています。詳細については、別途お知らせします。
- 記事等で使用するための画像の提供が可能です。提供を希望される場合は、以下の問い合わせ先にご連絡ください。
栃木県立美術館 学芸課（担当：主任 武関 彩瑛）
TEL：028-621-3566 E-mail：saebuseki@art.pref.tochigi.lg.jp
- 本資料からの画像等の転用はご遠慮ください。
- 画像を使用して記事等を掲載される場合は、事前に画像及びテキストの確認ができる原稿を御提出ください。（確認には1週間程度を見込んでおります）